

# 都市再生整備計画 事後評価シート

海味地区

平成27年3月

山形県西川町

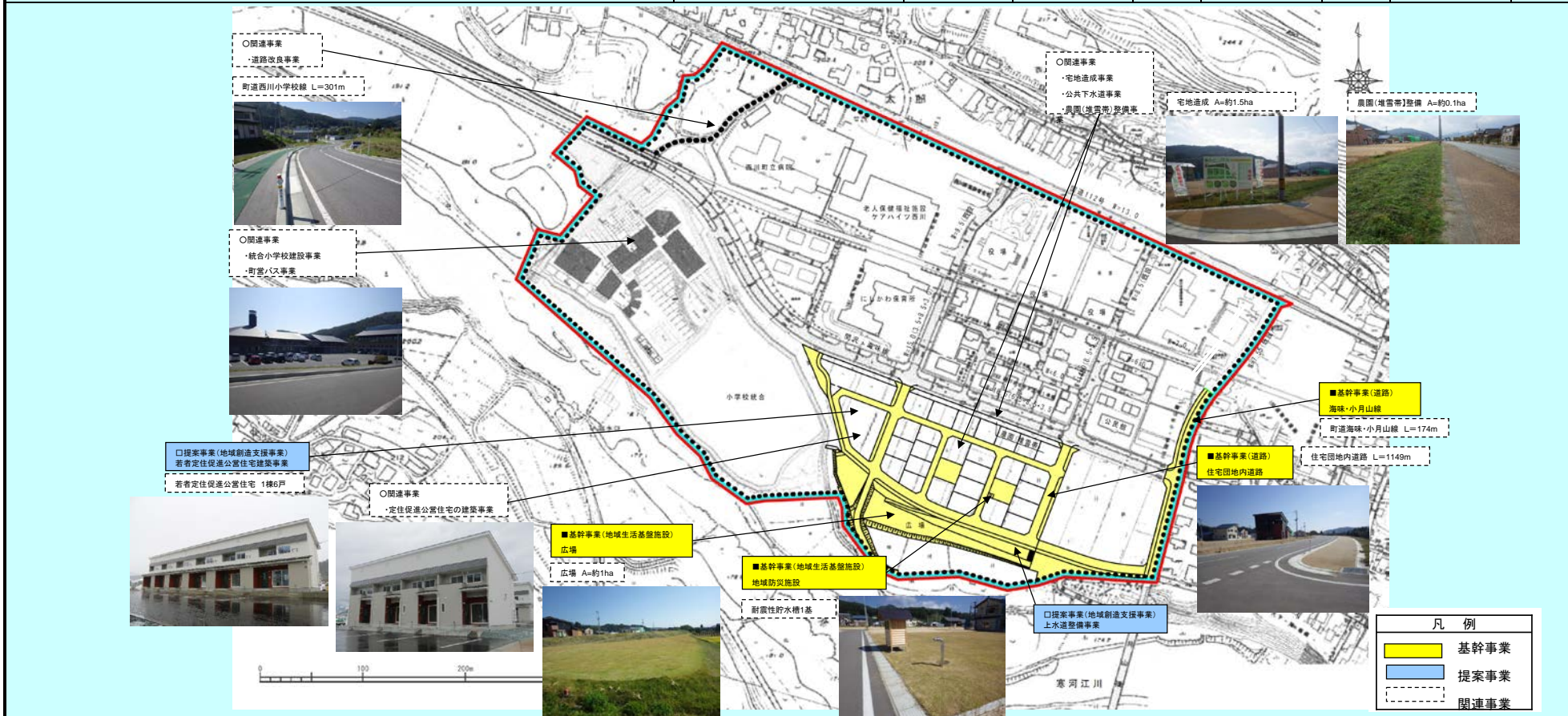
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山形県	市町村名	西川町	地区名	海味地区			面積	23ha			
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	337.5百万円	国費率	40%			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(住宅団地内道路、海味小月山線)、地域生活基盤施設(広場)									
		提案事業	地域創造支援事業(上水道整備事業)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(情報板)	当初の事業計画が第1期、第2期と2つに分かれ、現在は第1期計画しか完了しておらず、全体事業が完了後に情報版を設置したほうが、より効果が得られると考えたため。			宅地造成を1期、2期と分け、分譲区画数を減らしたことにより、指標1・指標2を下方修正。					
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析等)	町単独で事業効果分析を行うため。			影響なし					
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(地域防災施設)	災害に強いまちづくりのために、住宅団地内広場に耐震性貯水槽を設置した。			影響なし					
		提案事業	地域創造支援事業(若者定住促進公営住宅建築事業)	人口増加を目指すために、特に必要な若い世代の本地区への定着及び定住を促進するために、子育てに適した若者向けの公営住宅を整備する。			影響なし					
	交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし						
	変更	平成22年度～平成26年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	居住人口	人	350	H20	388	H26	●	あり	●	住宅団地造成及び公営住宅の整備により、区域内の人口減少を抑制することができた。	平成27年度中
	指標2	居住世帯数	世帯	98	H20	109	H26	●	あり	●	住宅団地造成及び公営住宅の整備により、区域内の居住世帯数の減少を抑制することができた。	平成27年度中
	指標3	賑わい向上感	人/日	105	H21	240	H26	●	あり	●	団地内道路及び海味小月山線の歩道整備により、周辺道路の環境が改善された。また、西川小学校の開校及び、住宅団地造成により、通学路や区域内の周遊路として、利用する人が増加した。	平成27年10月
指標4	まちづくり活動参加者数	人/年	80	H21	88	H26	●	あり	●	住宅団地造成及び公営住宅の整備により、区域内の居住世帯数も増え、「きれいな川で住みよいふるさと運動」へ参加する人が増えていくことが期待できる。	平成27年8月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	平成26年度に、前年度まで別の場所で開催されていた町内の2つのお祭りを融合し「まるごと西川三山祭り」を当該区域内で開催し、7000人の来場者数があった。											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	モニタリングを計画した中間年次(平成24年度)はメインとなる事業が完了しておらず、指標に影響がないため、モニタリングを実施しなかった。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●				
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●				
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●				

## 様式2-2 地区の概要

### 海味地区(山形県西川町) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	目標値	従前値	目標値	評価値	目標値
大目標:暮らしやすく賑わいと魅力あるまちづくり 目標1:魅力ある良好な定住環境の創出 目標2:町役場や小学校を中心としたまちの賑わい拠点の形成	定住人口	単位:人	350	H20	388	H26	345	H26
	居住世帯数	単位:世帯	98	H20	109	H26	101	H26
	賑わい向上感	単位:人/日	105	H21	240	H26	188	H26
	まちづくり活動参加者数	単位:人/年	80	H21	88	H26	79	H26



**まちの課題の変化**

人口、世帯数の数値目標には達しなかったが、区域内の減少数は抑制できた。今後は売れ残っている分譲区画の販売促進のためのPRを幅広く行っていく必要がある。町道に歩道を設け、安全に通学や周遊ができるようになったことや、町道脇に堆雪帯を設けて、冬季の町道除雪の効率化を図ることができる。「みどり団地」により区域内の人口、世帯数も増加傾向にあり、賑わいが増していくことが期待される。また、「まるごと西川三山祭り」も区域内で開催され多くの来客があった。今後も関係機関と連携して、区域内のスペースを利用したイベントを企画する等して、区域内外の交流を図っていく。

**今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)**

分譲地の早期完売を目指したPR活動の継続及び推進と、町内外へ向けた分譲地の宣伝と、若い世代や子育て世代へ向けた情報発信活動を行う。町内の情勢を鑑みながら、人口集積地の拡大を図る。若い世代や、子育て世代をターゲットとした長期賃貸住宅の建設を行い、人口及び世帯数の増加に取り組む。高齢者が安心安全に生活できる高齢者住宅を整備する。関係機関と連携し、団地内広場や周辺施設を利用した様々なイベントの推進。